

世羅町で4法人が連携組織を設立（世羅町）

【平成31年3月29日掲載】

平成31年3月20日、世羅町のせらにしタウンセンターで、小国地区の4つの集落法人（（農）上小国，（農）黒羽田，（農）大福ファーム，（農）きらり狩山：4法人の集積面積52ha）で構成され、農業機械の共同利用を行う連携組織「おぐにフィールド」の設立総会が開催されました。

4法人は連携組織の設立に向け、平成29年から各種研修会を重ねて交流を深めるとともに、協議を重ねてきました。

おぐにフィールドでは、当面、各法人が課題として掲げてきた「水稻本田防除の省力化を目的としたドローンの共同購入・共同防除」と「地域の未利用資源である「鶏ふん」を活用した地域資源循環型のブランド米生産」に取り組んでいきます。

また、4法人では水稻基幹作業の機械稼働状況の調査等も実施しており、今後は、農業機械の共同利用の取組拡大や資材の共同購入等も視野に入れた活動を行っていく予定です。

当所では、おぐにフィールドの更なる取組強化や本取組をモデルとした既存法人間の取組連携を支援していきます。



【（農）きらり狩山 小迫発起人あいさつ】



【おぐにフィールド設立総会集合写真】